

平成31年度 施策評価・事務事業評価シート（案） ～平成30年度の評価シートをもとにしたイメージ～

政策 4 便利で快適に暮らせるまちをつくる

施策 405 公共交通の充実

主担当課：企画政策課

○施策の目指す姿

「あしがるバス」を中心とした公共交通網が充実し、市内移動の利便性が向上しています。

○施策の展開

- 1 コミュニティバスの運行
- 2 レンタサイクルの運営
- 3 各種イベント等を通じた利用促進
- 4 ルート・ダイヤ等の見直し
- 5 福祉有償運送制度の運用

○平成30年度 事務事業評価実施事業（平成29年度対象）

- 1 コミュニティバス運行費
- 2 レンタサイクル費

I 施策の関連データ・施策を取り巻く状況

○施策の関連データ

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
「あしがるバス」の利用者数（人）※清須市調べ	40,393	43,575	48,515	57,369	59,218
「あしがるサイクル」の利用者数（人）※清須市調べ	236	174	172	158	104

○施策を取り巻く状況（基本計画策定時からの変化など）

- 平成18年10月に運行を開始したコミュニティバス「あしがるバス」は、本市の公共交通の核として、市民の日中の市内移動の利便性向上に重要な役割を果たしており、平成24年7月の大規模なルート・ダイヤ改正等を経て、順調に利用者数を伸ばしている。
- 市民のニーズに応じて、「あしがるバス」のルート・ダイヤの最適化や利用促進を図るとともに、福祉や観光など、様々な分野との連携を図りながら、更なる公共交通の充実を推進する必要がある。

目標の達成状況を一目で分かるようにするとともに、なぜそうなったのか、また今後どうしていくのかを記載する。

II 達成度指標の状況

※達成状況については、目標値を上回る見込…◎、目標値を達成見込…○、目標値の達成が難しい見込…▲、現状値を把握していない…ーとして記載する。

達成度指標	基準値	前期計画目標値	実績値と達成状況			
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	
市民満足度調査における満足度	33.4% (平成28年度)	↑ (平成30年度)	33.4% (平成28年度)	—	—	—
「あしがるバス」を知っている市民の割合	97.1% (平成28年度)	↑ (平成30年度)	97.1% (平成28年度)	—	—	—
「あしがるバス」の1便あたりの利用者数	オレンジ：5.2人 グリーン：4.9人 サクラ：5.5人 (平成27年度)	オレンジ：5.6人 グリーン：5.7人 サクラ：6.2人 (平成31年度)	オレンジ：5.8人 グリーン：5.5人 サクラ：7.0人 (平成28年度)	◎	オレンジ：6.4人 グリーン：5.8人 サクラ：6.9人 (平成29年度)	◎

III 平成29年度の主な取組結果

【コミュニティバス運行費】

現在の3路線を基本として、「あしがるバス」の更なる利便性向上に向けたルート・ダイヤ改正を実施（10月）。清須市地域公共交通網形成計画に基づいて、「あしがるバス」の利用者増加及び認知度向上に向けた利用促進事業を実施。（主な利用促進事業）春日五条川さくらまつりでのPRイベントの実施（4月）、バス乗り方教室の実施（6月）、ケーブルテレビでの紹介番組の放送（10月）、モデルコースの設定・モデルコースマップを作成（10月）、一日無料デーの実施（10月）、利用者の動向の変化等を捉えるための「コミュニティバス利用者・非利用者アンケート」を実施（2月）。

【レンタサイクル費】

市外来訪者を対象とした域内での移手段の確保や、あしがるバスの補完のため、レンタサイクルを実施（春季〔4～5月〕、秋季〔9～11月〕）。

IV 事務事業評価

※達成状況については、目標値を上回る…◎、目標値を達成…○、目標値を下回る…▲としている。

事業名	決算額（千円） [執行率（%）]		活動指標①		活動指標②	
	平成28年度	平成29年度	29目標値	29実績値と達成状況	29目標値	29実績値と達成状況
コミュニティバス運行費	35,611 [99.2]	39,574 [97.5]	26	26 ○	3	3 ○
事業の有効性の評価	あしがるバスの運行は施策の中核となる事業であり、高齢者や主婦層の日中の移手段として重要な役割を果たしている。利用者・非利用者アンケートの結果などを踏まえたルート・ダイヤ改正により、資源を有効に活用してルートの最適化を図りながら、3ルート・26便の運行を実施している。また、地道な利用促進イベントの実施により、あしがるバスの認知度は着実に高まっており、新たな利用者の獲得につながっている。					
事業実施にあたり工夫した点	平成29年10月にルート・ダイヤ改正を実施し、資源を有効に活用してルート・ダイヤの最適化を行った。これまで継続的に行ってきた利用促進策に加え、ケーブルテレビでの紹介番組の放送など、新たな取組も行っている。					
レンタサイクル費	862 [100.0]	897 [66.4]	58	49 ▲	197	104 ▲
事業の有効性の評価	雨天の影響などにより、運営日数・利用者数ともに減少し、1日あたりの利用者数が3.0人(H28)から2.2人(H29)に減少している。この事業は市外来訪者の移手段の確保や、あしがるバスを補完するために実施しているが、利用者が減少している点を踏まえて、周知の方法など、再度事業実施の方法を見直すとともに、ニーズの把握もあわせて行っていく。					
事業実施にあたり工夫した点	サイクルルートマップに掲載する市内を巡るモデルコースの見直しを行った。					
<p>評価の中心となる施策評価の内容を分かりやすくするため、事務事業評価を施策評価と同じフォーマットの中に組み込むこととする。</p> <p>また、達成状況を一目で分かるようにするとともに、事業の実施によってどのような効果を期待していて、実施した結果どうなったのかなどを記載する。</p>						

V 施策の評価と今後の方向性

- 利用促進事業の実施などにより、「あしがるバス」の利用者数は運行開始以降一貫して増加しているが、高齢化の進展や将来的な人口減少が見込まれる中で、引き続きこの傾向を維持するためには、利用者目線と非利用者目線の双方からの利用促進事業を実施していく必要がある。
- 平成28年度に実施した市民意識調査や、平成29年度に実施した利用者・非利用者アンケートの結果では、「あしがるバス」の存在はある程度認知されているものの、バスの利用度が低くなっていることから、主に非利用者をターゲットとした利用促進事業の実施により、新たな利用者の掘り起こしが見込まれる。
- また、市民意識調査等の結果では、便数の増加に対する市民のニーズが高い状況となっている。その対応とともに、清須市地域公共交通網形成計画で目標とする「市内移動の利便性向上に向けた、既設の鉄道網を活かした市内公共交通ネットワークの形成」を実現するため、平成30年10月からの「あしがるバス」の増便に向けた準備を進める。

達成状況の分析

- これまで地道に行ってきた利用促進イベントの開催や、平成28年3月と平成29年10月に実施したルート・ダイヤ改正の効果により、あしがるバスの利用者数は順調に増加している。1便あたりの利用者数もルートによって差はあるものの、全体で6.1人(H28)→6.4人(H29)と増加している。清須市地域公共交通会議の有識者からは、地道な利用促進策が奏功した結果であると評価を得ている。
- 現時点で目標値を達成している状況だが、市の公共交通のマスタープランである「地域公共交通網形成計画」では、平成30年度途中に実施予定のあしがるバスの新ルート設定や、既存ルートの増便により見込まれる、1便あたりの利用者数の減少を踏まえて、平成31年度末の目標値をオレンジ：4.5人、グリーン：4.5人、サクラ：5.6人、ブルー：4.1人と新たに設定して取組を進めている。